

雲間隠の龍子

クラス	キャスター	
出典	水滸伝・傾城水滸伝	筋力:E
性別	女	耐久:D
身長・体重	147cm・46kg	敏捷:C
地域	日本・奈良	魔力:A++
年代	鎌倉時代	幸運:D
属性	秩序・悪	宝具:A++

【クラススキル】

『陣地作成』:B

魔術師として自らに有利な陣地を作り上げる。軍師として陣形構築も可能。

『道具作成』:D

魔術的な道具を作成する技能。呪符の作成が得意。

【保有スキル】

『天間星(偽)』:A+

災いを為す一〇八の星が転生した者が所有するスキル。

龍子の天間星は同ランクまでの対魔力を無効化する。

『陰陽術』:A

日本に伝わる古典的な東洋呪術。

式神を媒体とした召喚術に長け、突風や火炎といった神秘も呼び起こせる。

『高速詠唱』:B+

魔術詠唱を短縮するスキル。

龍子は相手の行動に対応してカウンターの様に高速で術を放つ。

【宝具】

『五雷天心正法』 ごらいてんしんのせいほう

ランク:A++ 種別:対魔術宝具 レンジ:1~50 最大捕捉:500人

師である羅衣から授けられた秘術。あらゆる魔術や呪術を打ち消し、効果を消滅させる。

この特性から魔術合戦に長ける上、マスターに一撃でも魔術を浴びせればサーヴァントとの契約すら無効化してしまう。

この宝具の真髄は相手の魔術の力を強制的に上回り、ねじ伏せて消滅させることである。いわば術という名の力押し。

魔術戦では無敵の宝具であるが、魔術が相手でなければあまり機能せず、せいぜい魔力の出力を多少落とす程度に留まる。

【解説】

傾城水滸伝の登場人物。水滸伝の公孫勝に相当する陰陽術師。

父親に安倍康彦を持つ。父も優秀な陰陽術師であったが、北条家の陰謀により打首にされて一族は離散する。

龍子は亡き父の跡を継ぎ、烏有仙女羅衣に師事し都でも有名な女陰陽術師として名を馳せた。

一度は大箱らと別れたが、力寿と夏目の要請により再度江鎮泊に協力。

蘆屋道天の娘である綾重の妖術をいとも簡単に上回り、勝利に貢献した。

傾城水滸伝は未完であるが、原作の水滸伝における公孫勝はこの後も敵として現れたあらゆる妖術師を手玉にする活躍を見せる。

しかし残っていた母が気がかりであったこと、道術修行の再開を望み梁山泊を離れた。

公孫勝が去った後の梁山泊は一気に崩壊へと向かうことになる。

Fate シリーズの世界観では水滸伝は架空の出来事となっているが、この世界ではその代わりとして傾城水滸伝が史実であったという扱いになっている。

公孫勝ではなく龍子が呼ばれたのはそれが理由であり、傾城水滸伝の人物は例外的に水滸伝と同等の知名度補正を得ることが出来る。

【人物】

悪い陰陽術師として振る舞う少女。

やや古風で挑発的な口調で話し、笑い方もやや不気味。

洋の東西を問わず神秘の術を扱う者を、術合戦で上回ることが何よりの楽しみ。

どれだけの実力者であろうと、それが術者である限り自分には敵わないと豪語する。

少々口は悪いが、これは相手を挑発して先に術を撃たせるためのもの。

仲間には優しく、よく気を配る方である。

悪ぶってはいるが、実際は悪いことが嫌いで根っこは善性である。

江鎮泊の生活は心地よく、下山したことには後悔の念があるようだ。

好きなもの: 絶望に染まった魔術師の瞳

嫌いなもの: 肉弾戦

【因縁キャラ】

黒姫: 江鎮泊壊滅後に弟子にとった人物。かつての仲間の数少ない生き残りとしてだいぶ甘やかしてしまったようだ。

埴摺: 一度こてんぼんに叩きのめし、後に仲間となった。江鎮泊壊滅後は黒姫と同じく弟子にとった。実力の差があり過ぎるため、埴摺からは尊敬されると同時に非常に恐れられている。

【セリフ例】

一人称: あっし 二人称: あんた・小僧・小娘 三人称: あいつ・やっこさん

「いひひひひ、これでもあっしは手加減したつもりなんだけどねえ」

「げんこつ勝負はごめんだよ。昔はともかく、今はそんな無理ができるもんかい」

「生まれ変わって出直して来るんだね、小僧。ケケケ」

「自信満々の術士をべしゅんこにしてやるのが、あっしの何よりの楽しみなんだよ」